

令和二年八月二十二日 供の会

神 示

「教え」を学び 深め

「真理」に悟りを得る人^{人間}を目指せよ

「教え」が皆^{信者}の心に 「生きる」自信を持たせ

「人生」に夢を芽吹かせる

人^{人間}は皆 神の手の中

社会を「正道」へと導く「力」^{運命}を与えられて

誕生している

なれど 真理なき知識を頼って生きる者^{人々}が多く

自ら「道」欠き 外し

悩み 苦しみ 迷いを深める

信者に申す

「教え」を心^{人生}の支えに生きて

家族との関わりを深める努力をする

この心の動きが 「実体」を高め

家族の心は一つに重なってゆく

和のある「家庭の姿」を知って生きるべし

「教え」に生きる家族の関わりが

互いの心^{運命実体}を磨き 高める

社会に「生きる」自信と喜びを

引き出す極意が ここにある